

Silk Test

企業は、アプリケーションのテスト戦略を設計するにあたって多くの課題に直面します。テストが適切でないと、テストデータに不備や欠陥が含まれることになり、アプリケーションエラーや広範囲の業務の中断を引き起こす可能性があります。テスト環境の構築には手間と費用がかかり、ビジネスの成果を保証するものでもありません。ただし、テストに関して安易な妥協を行うと、お客様や市場シェアを失う危険があり、評価が損なわれる可能性があります。

製品の概要

Silk Test の利点

OpenText™ Silk Test は、あらゆるソフトウェアアプリケーションの機能テストと回帰テストを実施できる、信頼性の高い効率的なテスト自動化ソリューションです。コーディング不要の自動テスト作成機能により、ソフトウェアのテスターは開発のペースに合わせて作業を進めることができ、開発者は任意の IDE でテストを作成できます。Silk Test の自動化は、回帰テスト、クロスプラットフォームテスト、ローカリゼーションテストに有効です。AJAX、Web、モバイル Web、Java、.NET、クライアント/サーバー、端末ホスト、SAP システムを含むすべてのテクノロジーに対応しています。

主な特長および利点

Selenium 向け Silk Test

Selenium は、Web アプリケーション自動化のためのオープンソースフレームワークであり、あらゆる最新ブラウザでサポートされています。ただし、利用するには、相当の技術的な専門知識と労力を必要とします。Silk Test では、Selenium を使用した機能テストの作成と保守が簡素化されるため、テストチームは生産性を高め、また開発チームに迅速にフィードバックできるようになります。

- あらゆるブラウザで、Selenium テストスクリプトを容易に記録、再生
- カスタマイズされたグラフィック形式で結果を表示
- モバイルデバイス上での Web アプリケーションのテストに Selenium スクリプトを再利用

- 保守可能な安定した検索機能をワンクリックで生成
- スキルセットにかかわらず、誰でもテストの作成に貢献可能
- 安定性や信頼性の低いバックエンドシステムに左右されることなく、仮想化サービスで Selenium スクリプトを使用

モバイルテスト

Silk Test は、iOS および Android を含む主要なモバイルプラットフォームのすべてに対応しているため、テストチームは検証アクティビティを1つのソリューションに標準化できます。アプリケーションごとに異なるテストツールを用意する必要はありません。Silk Test では、シミュレーターやエミュレーターだけでなく現実のデバイスでもテストを行えるため、実際のユーザーエクスペリエンスをテストで再現できます。モバイルデバイスは Silk Test に直接接続することも、OpenText™ Silk Central、OpenText™ Silk Mobile Center、または SauceLabs を経由して使用することもできるため、ユーザー

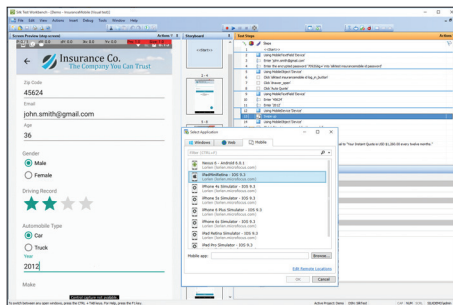


図 1. モバイルテスト

主なメリット

- **研究開発コストの削減。** テストおよび修正サイクルを最小限に抑えながら、高コストのリソースを最適化。
- **ROI の向上。** テストの作成や実行に関わるチームメンバーを増やし、品質プロセスでのコラボレーションを実現。
- **既存投資の活用 の促進。** 複数のツールやトレーニングへの投資を削減し、テクノロジーの変化に応じた信頼性を確保。
- **迅速なユーザーの順応。** 役割に基づく使いやすい自動インターフェイス。

機能概要

- オープンソースに基づく価値 (Selenium、Appium)
- ビジネス関係者と技術関係者のシームレスなコラボレーション
- デスクトップ、Web、モバイルアプリケーションをサポート
- Android および iOS でのモバイルテスト
- バックエンドサービス仮想化の組み込み
- ビジュアルテストにより短期間で生産性を向上
- 高度なテストケースシナリオに対応する埋め込み VB.NET スクリプト
- Java 開発者向け Eclipse プラグイン
- .NET 開発者向けの Microsoft Visual Studio プラグイン
- Silk Central および Silk Performer との統合によるシームレスなテスト管理またはパフォーマンステスト

は重要なデバイスを柔軟に操作することが可能です。

スキルセットにかかわらず、すべてのユーザーがテストプロセスに関与

機能テストでは、アプリケーションのあらゆる側面を対象に含める必要があります。キーワードを使用したテストにより、簡単な単体テストでも複雑なビジネスワークフローでも、ビジネス側の関係者と技術専門家がシームレスに連携できるようになります。Silk Test ではテストの設計と実装が切り離されるため、生産性が向上し、ユーザー間のコラボレーションが強化されます。

Silk Test のインターフェイスは、あらゆるタイプのユーザーに適しています。

- Silk Test Workbench のビジュアルテストインターフェイスは、アプリケーションテストのコード記述を行わないビジネス側ユーザーにとっては理想的な出発点と言えます。
- OpenText™ Silk4J は、Micro Focus™ Visual COBOL for Eclipse by OpenText™ プラグインの 1 つです。このプラグインを使用することで、Java 開発者は普段使用している環境でテストを作成し、IDE の全機能を活用できるようになります。
- Silk4NET は .NET 開発者用のプラグインで、Visual Studio と統合できます。

Silk Test では、どのインターフェイスを選択しても同じテスト機能を使用できます。

あらゆる面を網羅した容易な Web アプリケーションサポート

Silk Test は、Angular、Knockout、React、HTML5、Apache Flex、Microsoft Silverlight といった主要な Web 環境すべてに対応しています。HTML または AJAX を対象とした同期モードがサポートされており、最新アプリケーションのテストを容易に実施できます。シンプルな Web ページであれば、HTML モードでテストを実行できます。Java スクリプトを用いた複雑なシナリオを使用している場合でも、AJAX モードであれば、同期機能のスクリプトを手動で作成する必要がありません。

Web アプリケーションのクロスブラウザーテスト

Silk Test では、テストスクリプトを 1 つ作成すれば、Internet Explorer、Edge、Firefox、Chrome、Safari、およびモバイルブラウザーのすべてに対応したテストを実行できます。そのため、ブラウザーの種類やバージョンごとに異なるテストロジックを構築する必要がなくなり、テストスクリプトの保守が容易になります。テストケースのロジックはユースケースに重点を置きながら、テスト開発時間を最大 80% 短縮できます。



図 3. 主要な Web 環境すべてに対応

クラウドでの設定テスト

Silk Test と OpenText™ Silk Central を使用すると、ローカル環境内で幅広い種類のプラットフォーム、ブラウザー、モバイルデバイスで Web アプリケーションテストを実行できます。物理マシンまたは VMware や Docker などの仮想環境を使用することも、SauceLabs などの主要なクラウドプロバイダーや AWS 内の設定済み構造を利用することも可能です。

アジャイル / シフトレフトテスト

Silk Test および OpenText™ Silk Performer でパフォーマンステストに機能テストアセットを使用すると、スクリプトの重複による負荷が軽減されます。また、既存の Silk Test スクリプトを Silk Performer にアップロードするだけで、高負荷の状態におけるアプリケーションのパフォーマンスをすぐに確認できます。アプリケーションデリバリーライフサイクルの開始直後から、手間をほとんどかけずに機能およびパフォーマンスの質を確保できます。

迅速なリリースサイクルのサポート

現在では、リリースサイクルがますます短くなり、自動テストサイクルが数時間後に実行されることも少なくありません。Silk Test では、検索アルゴリズム、複雑なキャッシングメカニズム、および仮想化サービスがネイティブに実装されていることに基づく最適化により、業界最短の実行時間を達成できます。品質、機能セット、時間を秤にかけて妥協する必要はありません。

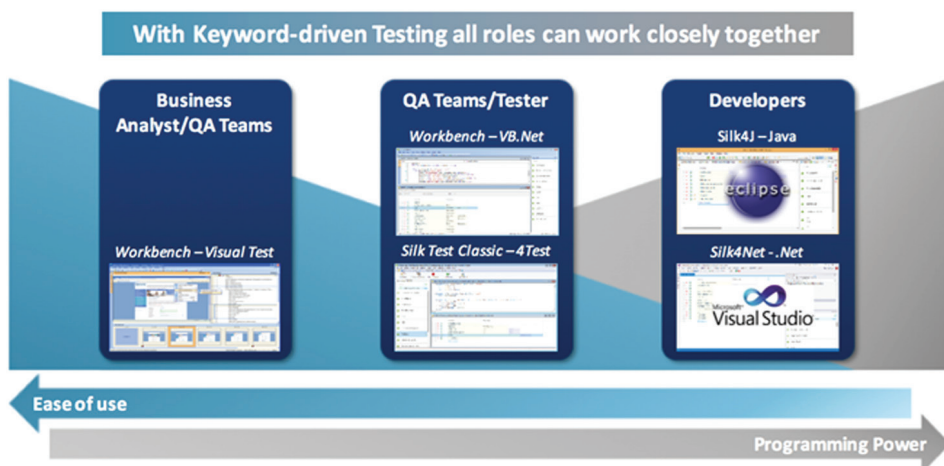


図 2. 役割ベースのテスト

お問い合わせ



対応環境

Web

- ブラウザーテクノロジー：AJAX (Angular、Knockout、React、ExtJS)、HTML5、DHTML
- Web ブラウザー：Internet Explorer、Edge、Google Chrome、Firefox、Safari、モバイルブラウザ (iOS および Android)
- リッチインターネットアプリケーション：Apache Flex、Adobe Air、Silverlight、Java アプレット、Oracle Forms

モバイル

- iOS
- Android
- 物理デバイスとエミュレーター / シミュレーター

デスクトップ

- Java SWT アプリケーション (スタンドアロン / Rich Client Platform (RCP))
- Java AWT/Swing
- Java FX
- Microsoft WinForms (サードパーティ製 UI フレームワークを含む)
- Microsoft WPF (サードパーティ製 UI フレームワークを含む)
- ユニバーサル Windows アプリケーション
- ネイティブ Windows アプリケーション (Qt、PowerBuilder、Delphi、MS Office など)
- SAP (SAPGUI) と eCATT の統合
- Oracle Forms
- OpenText Rumba を介した端末ホストシステムとグリーンスクリーンアプリケーション

注：バージョンの詳細については最新のリリースノートをご確認ください。

詳細はこちら：

www.opentext.com